KOBE GAKUIN UNIVERSITY

FD News Letter

2018 No.2

神戸学院大学
全学教育推進機構

FD 活動のすゝめ

教務センター所長・教職教育センター所長　生田　卓也　先生

1年ほど前まで、私はFD活動にさほど興味は無かった。その理由は、新人の頃には授業運営や学生対応に不慣れで試行錯誤していたが、教員歴が長くなるにつれデータが蓄積され、自分では十分な教育ができていると思っていたからである。それを裏付けるかのように学生の授業アンケートの結果は私に自信を持たせてくれたし、必然的に経験値も上がり、授業運営や学生対応はこのまま問題なくいくものと思っていた。

しかし、2年程現場を離れ、戻ってきた時に予想以上の学生の変化を感じ（それは私が50才を超えたからかもしれないが）自分の経験だけで良い授業を目指すのには無理がある時代なのかもしれないと考えた。それで、これをきっかけにFD活動に積極的に参加することを決めた。

このところの私の目標は、FD活動に参加して3つ以上インプットして、必ず1つはアウトプットに繋げることである。例えば、昨年9月の「2018年度FDワークショップ」では佐藤浩章先生よりご紹介いただいた「ルーブリック評価」を後期の担当科目で導入した。昨年12月には山元弘先生に「カリキュラム評価に向けたシラバス作り」でシラバスの厳格化と文言整備を教えていただき、実行した。最近では今年3月の「大学のブランド力向上にむけて」の小林直人先生のご講演の中で、数値をデータ化する際の信頼性について学び、数値化の大切さを再認識した。これらはなかなか自分では思いつかないものであり、学生の多様性への柔軟な適応において刺激と効果を感じている。

振り返って考えると、現場の教職員は自分の専門分野はもちろんのこと、専門分野以外の広い学びを加えると面白いのではないだろうか。この学びは自らを成長させてくれるし、大きな社会変化の中で生き残る術を与えてくれる。結果的に大学は成長し、良い職場、良い教育現場となる。

もし学びが不足していると思ったなら、FD活動に参加してみるのはどうだろう。

2018年神戸学院大学FDワークショップを開催しました

2018年9月14日（金）に、兵庫県立淡路夢舞台国際会議場にて2018年度神戸学院大学FDワークショップ「アセスメント・ポリシーの作成と評価／大学教員のためのルーブリック評価」を開催しました。

昨年度のワークショップに引き続き、講師として大阪大学全学教育推進機構 教育学習支援部 准教授の佐藤浩章先生をお迎えし、午前中は「カリキュラムのアセスメントとその改善手法」についてのご講演と各学部カリキュラム・アセスメント・チェックリスト（CACL）の作成、午後からは「ルーブリック評価入門」についてのご講演とルーブリックの作成についてご指導いただきました。特にCACLは、昨年度のFDワークショップで作成したものをブラッシュアップし、各学部とも評価・運用できる体制が整いました。

今年度は佐藤雅美学長にもご参加いただき、総勢63名の教職員が参加という過去最大人数のワークショップとなりました。少しずつですが、FDの輪が広がってきていることを実感しています。参加者からは「大学を取り巻く状況をわかりやすく教えていただき、大学が今後生き残るためにはどうしたらよいのかを考えさせられた」「非常に有益な場であったため、学部の全教員に実施してほしい」など大変嬉しいご意見を頂戴いたしました。また、実施時期や実施会場については厳しいご意見も頂戴いたしましたので、来年度のFDワークショップ実施に向けて、より参加者皆様のお声を反映できるよう努めてまいります。

FDワークショップ フォローセミナーを開催しました

FDワークショップで完成したカリキュラム・アセスメント・チェックリスト（CACL）を活用するにはどうしたらいいの？他学部はどうしているの？という疑問を解消するため、佐藤雅美学長より「今後、中長期の我が国の高等教育政策情勢について」、また、本学名誉教授である山元弘先生より「カリキュラム評価に向けたシラバス作り」というテーマでご講演いただきました。各学部から学部長およびCACL担当教員2名にご参加いただき、大変有益なセミナーとなりました。テーマとしては難しいものでしたが、山元先生の経験や薬学部の例示を示していただきながらの講演であったため、理解を得やすく60分間があっという間でした。参加者からは、自学部として問題意識を持つことができたと大変好評でした。今後もCACL活用に向けて、全学一丸となり取り組んでいきましょう。

日時：2018年12月13日（木）
会場：ポートアイランドキャンパスD号館会議室
←→有瀬キャンパス4号館2階42A会議室（遠隔）

学部公開FD

薬学部主催 FD 講演会におじゃましました

2019 年 2 月 18 日（月）、薬学部主催 FD 講演会「大人数の講義型授業で学生を授業に巻き込むための工夫」を、全学部公開 FD として本学教職員の皆様にも聴講いただけることとなり、おじゃましてきました。

立命館大学教育開発推進機構 教授 沖裕貴先生に講師としてお越しいただきました。評価のジレンマ、授業の設計や授業アンケートについてなど、さまざまな視点から、学生をどう授業に巻き込んでいくのかをご教示いただきました。

講演会終了後も、学びを深めたい参加者の皆様からの質問が飛び交い、意欲の漲る講演会となりました。

神戸ポートアイランド 4 大学合同 FD トップセミナーを開催しました

開催日時：2019 年 3 月 1 日（金）15：00 ～ 17：00
開催会場：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス
A 号館 6 階大会議室
講　　師：小林　直人　氏
（愛媛大学 学長特別補佐、教育・学生支援機構 副機構長）
開会挨拶：佐藤　雅美　氏（神戸学院大学 学長）
司　　会：塩出　省吾　氏（神戸学院大学 全学教育推進機構 機構長）

2018 年度 2 回目の開催となる FD トップセミナー、今回は神戸ポートアイランド 4 大学合同 FD トップセミナーとして「大学ブランド力の向上にむけて－学外に向かってどうデータを見せるか－」を開催しました。

近年、希望すれば誰もが大学に入学できる「大学全入時代」、さらに昨年には 18 歳人口が大幅に減少する「2018 年問題」が到来し、多数の私立大学が定員割れ、募集停止、閉学等の激変期を迎えています。これらの大学経営上の問題は決して他人事ではなく、この厳しい競争環境を生き残っていくためには、受験生や保護者はもちろんのこと、地域や社会全体から認められ、「選ばれる大学」でなくてはいけません。

本セミナーでは、愛媛大学 小林直人先生を講師としてお招きし、受験を控えた高校生やその保護者への大学の魅せ方や、大学のブランド価値を関係者のみならず社会全体に浸透させるための大学としての在り方など、先行き不透明な時代を生き抜くための具体的な方法をご教示いただきました。学外へデータを公表する際の見せ方や留意点、それに伴うデータの危険性や扱い方についてご講演いただき、愛媛大学の事例をもとにワークショップをふまえながらのセミナーは、終始気づきに溢れた 90 分でした。

今回は合同 FD トップセミナーとして、神戸ポートアイランド連携大学や、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校など、セミナー参加者を広く募集させていただき、その結果、兵庫県下から多くの皆様にご来場いただきました。来年度以降の FD 活動につきましても、皆様のニーズに沿ったテーマで、様々な FD 活動に取り組んでまいります。

当機構では、今後も先生方のニーズに即した情報交換会を開催したいと考えております。
ご要望など、どうぞお気軽に機構までお寄せくださいますようお願い申し上げます。

2019年度 FD活動のおしらせ

2019年度のFD年間計画が決定いたしました。実施日時等詳細は、改めて全学教育推進事務グループより学内情報メールサービスや掲示ポスターなどでお知らせさせていただきます。（予定は予告なく変更・中止になる場合がありますので、予めご了承ください。）

年	月	活動内容【講演テーマ】
2019年	4月	・FDアンケート調査開始（4/1～5/8） ・FD参観（授業公開）期間開始（5/7～6/29）
	5月	・FDセミナー開催【なぜFDが必要なのか】 ・学部等巡回FD実施（5月～8月）
	6月	・FDセミナー開催【授業改善について】
	7月	・大学コンソーシアムひょうご神戸主催FDトップセミナー開催【大学経営について】 ・前期授業アンケート実施（7月上旬～下旬）
	8月	・授業アンケート結果（2019前期）WEB公開予定
	9月	・FDワークショップ開催（9/6） ・後期FD参観（授業公開）期間（10/1～11/29） ・『FD NEWS Letter 2019 No.1』発行・WEB公開（9/30）
	10月	・FDセミナー開催【シラバス作成について】
	11月	・FDセミナー開催【4月実施のアンケート結果によりテーマ決定】
	12月	・FDセミナー開催【英語で授業をするために】 ・後期授業アンケート実施（12月中旬～1月中旬）
2020年	1月	
	2月	
	3月	・授業アンケート結果（2019後期）WEB公開予定 ・『FD NEWS Letter 2019 No.2』発行・WEB公開（3/30）

FDアンケート調査回答のお願い

FDニューズレター2018年度N0.2とともに、「2019年度FD活動に係わるアンケート調査について」を配布しております。このアンケートは、本学のFD活動を大学全体により一層浸透させることを目的に、皆様のご意見を集約し、今後の活動の方針とさせていただきたいと考えています。

ご回答いただける設問だけでも構いませんので、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

回答期日：2019年5月8日（水）

回答方法：全学教育推進事務グループ

メールアドレス　zen@j.kobegakuin.ac.jp　にメール

または教員控室（KAC：4号館3階、KPC：A号館1階）の緑色のボックスに投函

編集後記

2018年度は前年度に比べ、3倍にも及ぶ回数のFD講演会およびFDイベントを開催することができました！ちょうど1年前に発行したFDNL編集後記で宣言いたしました「FD活動の充実」をめざし、手探りで取り組んでまいりましたが、いかがでしょうか？興味のあるFDイベントはありましたか？2019年度はさらにぎゅぎゅっと濃密な内容をお届けできるよう調整しております。ほんのりお楽しみに！

KOBE GAKUIN UNIVERSITY FD News Letter
2018 No.2
発行日：2019年3月29日
発行 神戸学院大学 全学教育推進機構
〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518　TEL.078-974-1342　FAX.078-974-2569